

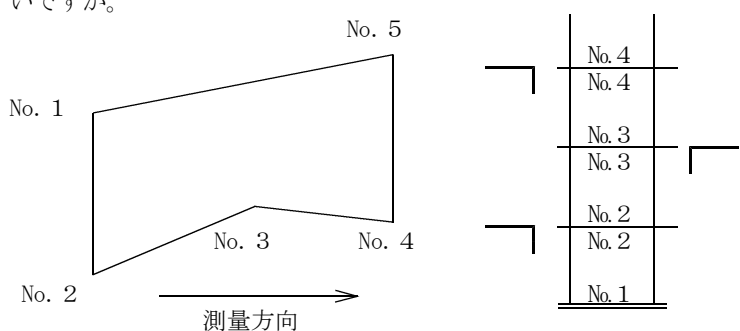
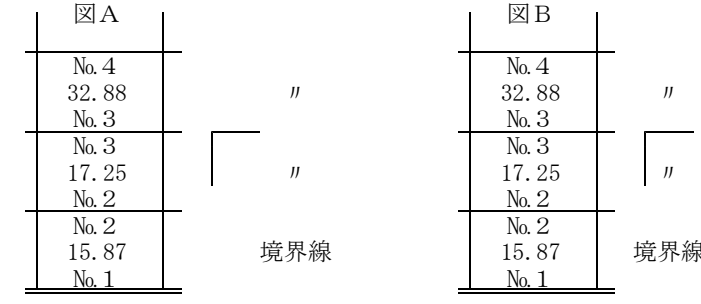
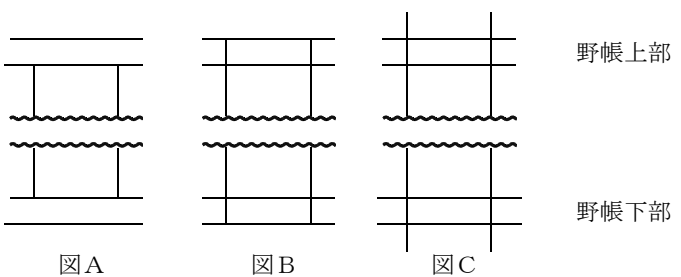
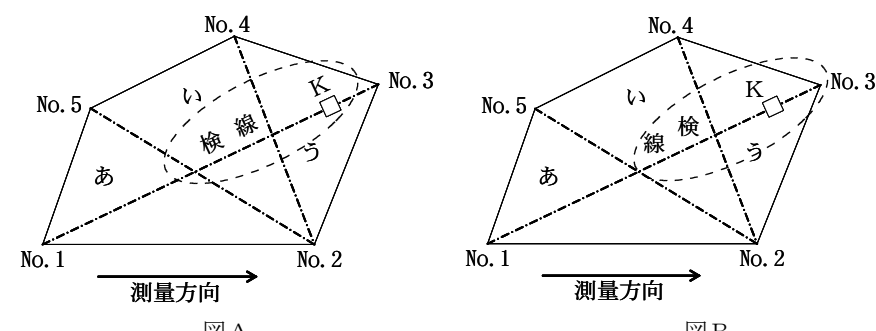
第64回日本学校農業クラブ全国大会 平成25年度首都圏大会 平板測量競技会 事前Q&A

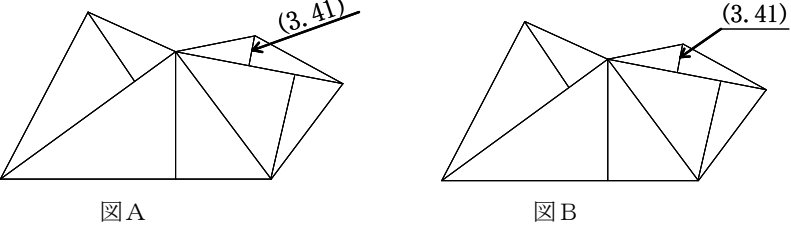
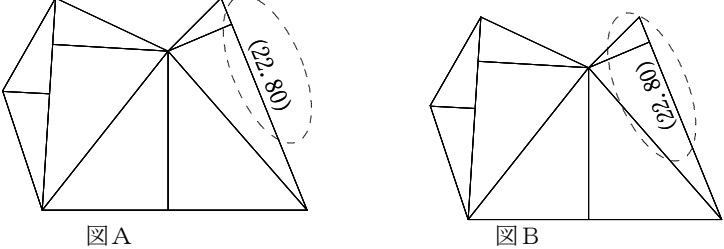
※ 表中左端の1, 2, 3の数字は関係する作業を表しています。


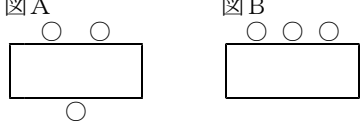
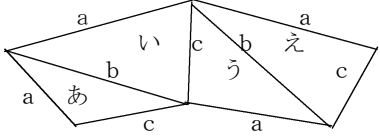
作業	No.	質 問	回 答	
	1	・大会前日に会場の下見はできますか。	・できません、来場は御遠慮ください。	
1・2	2	・1次・2次作業会場の大きさはどれくらいですか。	・およそ150m×80mです。	
1・2	3	・競技場に測距用ピンは刺さりますか。また、地面の凹凸の状況はどうですか。	・競技会場は運動公園です。表面は芝地で、ピンは刺さりにくい状態です。地面はほぼ水平です。	
1・2・3	4	・道具袋や道具箱等の使用は可能ですか。	・可能です。	
1・2	5	・ケガ防止のためにテーピングやバンドエイドを貼ったり、手袋をして競技をすることは可能ですか。	・可能です。	
1・2	6	・帽子の着用は可能ですか。	・可能です。着用するときはチームで統一してください。	
1・2・3	7	・タオル、ハンカチの使用はできますか。使用可能な場合、首に巻いたり腰にかけてもよろしいですか。	・よいですが清楚を旨としてください。	
1・2・3	8	・ストップウォッチ付き腕時計の使用またはストップウォッチを競技中に使用してもよろしいですか。また、最初に「ピッ」という音がしますがよろしいですか。	・1次、2次、3次作業でのストップウォッチや腕時計の使用は認めますが、競技時間についての異議は認めません。また、最初の音以外の時間経過をあらわすアラーム音はいけません。	
1	9	・トランシット用の下げ振りを使用してもよろしいですか。	・平板用以外は使用できません。	
1	10	・整準に使用する気泡管は、T形気泡管や丸形気泡管を使用してもよろしいですか。	・よいです。	
1	11	・平板移動器はUFO型や整準ネジ式等を使用してもよろしいですか。	・種類は問いません。	
	3	12	・使用できる電卓の種類を教えてください。	・乾電池式、太陽電池式、10桁以上表示、メモリー機能付きの電卓はいずれも使用可能です。ただし、関数電卓・プログラム機能付の高機能電卓やAC電源を必要とするものの使用は認めません。例年、違反品がありますので、実施基準をよく確認してください。
1	3	13	・三角スケールは1組とありますが、オフセット尺を準備する必要がありますか。また、オフセット尺の提出は必要ですか。	・必要ありません。また、提出する必要もありません。
1・2・3	14	・字消し板の使用は可能ですか。	・使用できません。	
1・2・3	15	・定規は大きさ長さを問わず、加工したものなどを使用してもよろしいですか。	・測量器具を加工したり、印等を付けたものは使用できません。	
1	16	・針先0.2mmの測量針が手に入りません。まち針を加工して、0.2mmに近づけたものを使用してもよろしいですか。	・やむを得ない状況なので、測量針に関しては、まち針の代用と加工を認めます。	
1・2	17	・3倍速、5倍速巻き取り巻尺の使用は可能ですか。	・可能です。	
1	18	・27cmのワイドアリダード（視準線とスケールが同一線上にあるもの）を使用してもよろしいですか。また、プリズム付アリダードを使用してもよろしいですか。	・ワイドアリダードは使用可能ですが、プリズム付アリダードや望遠鏡付アリダードは使用できません。実施基準では「普通アリダード」を使用器具として挙げています。普通アリダードとは、前視準板の中に視準糸があり、前視準板と後視準板と定規で構成されたものを指します。	
1・2	19	・ポールは、器具点検の時から2次作業の終わりまで、1本のみを持ち込んで作業してもよろしいですか。	・全国大会実施基準のとおり、器具点検時には2本用意しなければなりません。作業に使用するのは1本でもよろしいです。	
1・2	20	・ポール2本のうち、使用しない1本をサークル内に置いたままにしておき、使用したポール1本のみを持って最終測点で作業終了の合図をしてもよろしいですか。	・よいです。作業で使用した器具のみを持って終了の合図をしてください。	
1・2・3	21	・使用器具が故障または破損した場合、その時点で失格となりますか。	・失格にはなりません。そのまま続行可能であれば実施してください。器具類は事前に確認をし、故障や破損の心配のないものを使用してください。	
1・2・3	22	・使用器具が故障または破損した場合、代替りのものを貸してもらえますか。	・故障または破損した場合の器具の貸し出しはできません。	
1・2・3	23	・使用器具が故障または破損した場合に備え、予備の器具を持ち込んでもよろしいですか。	・競技に使用できる器具は、器具点検を受けたもののみです。また、器具点検時においても指定数量のみを準備をしてください。器具点検所へ移動後は選手控所に戻ることが出来ません。	
1・2・3	24	・以下のことについて、いつどの段階で出場選手に伝えるのですか。 ①縮尺 ②測点数 ③右回り、左回り ④対角線、検線の位置	・詳細は8月中旬までに首都圏大会HPにアップする予定です。また、出場校には9月下旬頃に「平板測量競技会実施要項」を郵送します。	
1・2・3	25	・30m以上の区間は何カ所で、その区間はどこですか。	・公表できません。	
1・2・3	26	・どの程度までの天気なら、晴天時競技を実施しますか。	・多少の雨でも晴天時競技を実施します。落雷のおそれや荒天時の場合は、当日の朝までに担当校が判断し、宿泊先へ連絡します。	

作業	No.	質問	回答
1 2 3	27	・競技開始後大雨となり、2回次以降の作業が困難になった場合どうなりますか。	・競技開始後の競技変更はしません。天候不順の時は各チームで、雨具・着替え等の準備をしてください。担当校での準備は出来かねます。
1 2	28	・競技途中に降雨があった場合、傘持ち等の補助はあるのですか。	・ありません。選手3名のみで対応してください。カップ・傘類の使用は認めず。
1 2	29	・測点を示す杭はどのようなものでできていますか。また、杭の高さはどのくらいですか。	 <p>・5cm×5cm×9cmの木製の杭です。測点の中心は、コノエネイルで示し、杭は競技場毎に色分けしてあります。また、杭を固定するために杭の角に穴を開けて、コノエネイルとは異なるアンカー(鉄の棒)で固定しています。また、杭の角が一カ所低くなっています。</p>
1 2 3	30	・製図用紙、オフセット用紙、面積計算簿の種類・規格等は通知されますか。	<p>品名:オリカTMP 白PETフィルム(120μm) 製造:桜井株式会社 品番:TMP03(A3版), TMP04(A4版) オリカTMP 白PETフィルムは白色で、下が透けません。</p> <p>・用紙は、天候に関わらず以下のものです。 製図用紙・・・オリカTMP 白PETフィルム(A3版) オフセット用紙・・・オリカTMP 白PETフィルム(A4版) 面積計算簿……………上質紙(A4版)</p>
	31	・三斜法と三辺法の面積計算簿の「計」の欄において、記入不要なところに斜線は印刷してありますか。	・印刷してあります。
	32	・オフセット野帳は、全国大会実施基準のとおり印刷されていますか。	・印字の大きさは違いますが、様式は全国大会実施基準のとおり印刷してあります。
1 2 3	33	・使用する図紙等の見本は送付されますか。	・送付はしません。大会の当日に掲示します。
1 2 3	34	・各作業開始前に図紙及び野帳を貼っておいてもよろしいですか。	・各作業開始前の準備時間に貼ってください。
1 2 3	35	・1次作業において、踏査から競技開始までの時間はどれくらいですか。また、2次作業、3次作業の準備時間はどれくらいですか。	・作業の準備時間は3～5分程度です。すべてのチームが準備できたことを確認してから競技を開始しますが、競技進行の関係上、準備は手際よく行ってください。
1 2 3	36	・踏査及び競技中にメモを取り、その後の作業でメモを見てもよろしいですか。	・その後の作業でメモを見てはいけません。減点対象になります。競技中、図板や製図用紙等にメモをした場合、終了合図前に必ず消してください。
1 2 3	37	・三角スケールで線を引いてもよろしいですか。	・三角スケールでの線引きはしないでください。
1	38	・1次作業で線引きする際、三角定規、直定規のどちらを使ってもよろしいですか。	・よいです。
1	39	・アリゲードで線を引いてもよろしいですか。	・よいです。
1	40	・図上での距離測定において、三角スケールの代わりにアリゲードの定規を利用してよいですか。	・三角スケールを使用してください。
1	41	・方位は、いつどのように引けばよろしいですか。	<p>・南北を示す縦線だけは、最初に据え付けたNo.1の測点上において磁針箱で引いてください。残りの線は、1次作業の時間内に定規で引いてください。</p>  <p>磁針箱を使用 定規を使用</p>
1	42	・方位は北を上にして、図郭線の短辺と平行でなければなりませんか。	・図面の右上に、北をほぼ上方にして書けば平行でなくてもかまいません。また、図面の置き方は指定されていませんので、短辺が上下になってもかまいません。
1 3	43	・方位と測点の位置関係は、全国大会実施基準の記載のとおりですか。	・実施担当校案で実施します。
1	44	・三脚を跨ぐ動作は減点の対象となりますか。また、測点を跨いだ場合はどうですか。	・跨いでいるかどうかの判断は難しいので審査対象とはしませんが、観測中に三脚や測点を蹴ったりした場合は減点します。
1	45	・平板の据え付けにおいて、三脚の踏み込み等を行わない場合は減点の対象となりますか。	・観測中、三脚が動かないように踏み込み等を行わない場合は減点の対象とします。
1	46	・据え付け作業を2名で行ってもよいですか。	・よいです。
1	47	・測点間を移動する時、三脚を閉じる必要がありますか。また、三脚頭部のネジは緩めなければなりませんか。	・三脚は閉じて移動してください。ネジは競技者の判断でよいです。
1	48	・測点間を移動する時、器具等を平板に載せたままにしておいてもよろしいですか。また、走って移動してもよろしいですか。	・平板には測量針以外の物を載せて移動してはいけません。また、平板を持って走って移動してはいけません。
1	49	・器械手以外は走ってもよいですか。	・よいです。
1	50	・測点間を移動する時、器具は手に持って移動した方がよろしいですか。それとも、ポケットに入れて移動した方がよろしいですか。	・どちらでもよいです。
1	51	・スタートの時は、平板上に器具を載せて、三脚を開いたまま移動してもよろしいですか。	・サークルからNo.1へ移動するスタート時のみ認めます。
1	52	・平板上から器具が落ちたり、ポケットから鉛筆等が落ちた場合は減点の対象になりますか。	・減点になります。

作業	No.	質 問	回 答
1	53	・前の測点に器械を戻し、視準し直すことはできますか。	・可能です。
1	54	・1次作業において、巻尺の先送りは可能ですか。 例) No.1に平板を据え付けている時、No.1～No.2の測距後No.2～No.3の測点間に巻尺を伸ばして置いておく。	・巻尺を伸ばして先に置いてもよろしいですが、測距は平板が測点に移動してから行ってください。
1	55	・1次作業において、30mを超える測線に中間点を設ける際は、アリダードを用いて視準しなければなりませんか。	・測点にポールを立て、中間点に測距用ピンまたはポールを立て、必ずアリダードを用いて視準してください。
1	56	・1次作業において、ポールを持っている選手が移動する際、最短距離（対角線）で移動してもよろしいですか。	・できません。選手はすべて境界線に沿って移動してください。
1	57	・1次作業において、境界線に沿って移動する際、境界線からどの位まで離れてもよろしいですか。	・境界線の外側及び内側とも、おおむね2m前後を目安として作業してください。
1/2	58	・ポールや巻尺等の器具を各測点付近に置いて移動してもよろしいですか。	・よろしいです。ただし、作業終了時に使用した器具を置き忘れた場合は減点です。
1/2	59	・収縮自在ポールを完全に伸ばさず、2m以下の状態で使用してもよろしいですか。	・2mに伸ばして使用してください。
1/2	60	・測距を杭の頂部でなく、地面で行ってもよろしいですか。	・杭頂部で、中心を示すネイルで測距を行ってください。
1/2	61	・1次作業、2次作業の測距の際に、巻尺の0点は先でも後でもよろしいですか。	・1次作業では0点を先にしてください。2次作業ではどちらでもよろしいです。
1/2	62	・1次作業、2次作業で測点ごとに巻尺を巻き取らず、地面を引きずらないように2人で巻尺を引張って、次の測線に移動してもよろしいですか。	・前手と後手の距離が5m程度になるまで巻き取るかたぐるかして、引きずらないように移動してください。また、30mを超えた場合も同様です。
1/2	63	・1次作業、2次作業で巻尺を巻き取る（たぐる）際、地面に巻尺が接した状態で、引きずらない様に5m以下まで巻き取る様にして減点になりませんか。	・引きずらないように、巻き取れば減点にはなりません。
1/2	64	・1次作業、2次作業において、風等により巻尺が他の競技場に入ってしまった場合、減点の対象になりますか。	・減点になります。
1/2	65	・1次作業、2次作業の測距において、30mを超えていなくても中間点を設けて測距を行ってもよろしいですか。	・かまいません。
1/2	66	・30mを超える測距をする場合、中間点は必ず30mになるようにしなければなりませんか。	・しなくても結構です。
1	67	・1次作業終了時の出場校番号の記入は、次のどれでもよろしいですか。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>出場校番号</p> <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>出場校番号1</p> </div> </div>	・どちらでもかまいません。
1	68	・1次作業終了時の測点番号の表示は、次のどれでもよろしいですか。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <p>No. 1</p> <p>No、1</p> <p>No, 1</p> </div>	・1次作業ではどれでもよろしいです。ただし、オフセット野帳及び3次作業仕上がり図面では「No. 1」としてください。
1	69	・1次作業終了時の境界線の引き方は、どちらが正しいですか。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>図A</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図B</p> </div> </div>	・1次作業終了時はどちらでもよろしいですが、3次作業仕上がり図面では、図Bのように結線してください。
1	70	・1次作業において、実施基準では〔作業動作〕の項目で「不良なものはその程度により減点する」とありますが、どのようなものが減点の対象となりますか。	・不良作業動作については、この事前Q&Aの回答を参考にしてください。
1	71	・1次作業の終了の合図の際、平板上に器具を載せたままでもよろしいですか。	・アリダード・求心器・測量針・三角スケールを載せたまま終了の合図をしてください。また、下げ振りも求心器に付けてください。直ちに審査を行います。ただし、道具入れ等に片付けても減点の対象とはしません。
1	72	・1次作業の終了の合図は、どのようにすればよろしいですか。	・巻尺を巻き、使用した器具を持って最終測点に集合し、挙手と声で終了の合図を審査員にしてください。
1	73	・1次作業終了の合図後、平板を動かしてしまった場合どうなりますか。	・平板を動かした場合は、減点した後に再度選手に据え付けてもらいます。ただし、作業時間には含めません。
1	74	・1次作業終了後、図面は平板に貼り付けたまま審査員に提出するのですか。	・図面は貼り付けたまま提出してください。
2	75	・オフセット野帳への記入は、地面上で作業してもよろしいですか。	・よいです。
2	76	・2次作業において、野帳手は競技場のどこにいてもよろしいですか。	・サークルの外で競技場内であれば、どこにいてもよいです。
1/2	77	・2次作業における30mを超える測距において、ポールを使用しないで測距用ピンだけの目視で中間点を設置してもよろしいですか。	・測点には必ずポールを立て、中間点にはポールか測距用ピンを立てて見通してください。測距用ピンのみの目視はいけません。
2	78	・2次作業において、2mポールは必ず使用しなければなりませんか。	・30mを超える見通しに最低1本は、使用してください。
2	79	・30mを超える測距において、30mを超える全ての箇所中間となる測距用ピンを刺してから観測を始めてもよろしいですか。	・よいです。
2	80	・2次作業で測距を行う場合、境界線に沿わず最短距離で走ってもよろしいですか。	・よいです。

作業	No.	質 問	回 答
2	81	・30mを超える検線を測定するときは、見直しを行う杭はK点または測点のどちらで行うのですか。	・K点、測点のどちらでもかまいません。
2	82	・オフセット野帳を記入する時は、定規を使わなければなりませんか。フリーハンドでもよろしいですか。略図はどうですか。	・全てフリーハンドでかまいません。
2	83	・オフセット野帳の「測量方向」の書き方は、No.1-No.2に平行になるように書くのですか。それとも用紙の下辺に平行になるように書くのですか。	・用紙の下辺にほぼ平行になるように記入してください。
2	84	・オフセット野帳の略図は、北を上にして書くのですか。それとも、方位に関係なくNo.1-No.2が用紙の下辺に平行になるように書くのですか。	・略図ですので、形がわかればどの向きでもよろしいです。
2	85	・「K点」は、いつ検線上に設置されますか。	・1次作業前に設置してあります。
2	86	・境界線、対角線、検線はどのような順序で測定すればよろしいですか。	・境界線、対角線、検線の順に測定し、境界線はNo.1-No.2から測定してください。対角線の順序は問いません。
2	87	・オフセット野帳において、No.1-No.2の境界線を野帳の一番下に書かなくてはなりませんか。また、対角線の順はどうですか。	・野帳は境界線、対角線、検線の順で下から書いてください。境界線はNo.1-No.2から書き、対角線の順序は実施基準通りに仕上げてください。
2	88	<p>・次のような多角路線の場合、オフセット野帳の測量方向を示す記号はこれでよろしいですか。</p> 	・よいです。また、「印は区分線の延長線上に記入してください。
2	89	<p>・オフセット野帳の表を作成する際、どちらの書き方もよろしいですか。</p> 	・図A B どちらの書き方もかまいません。
2	90	<p>・オフセット野帳の記入は、下図のどれが正しいですか。</p> 	・野帳上部は図A B Cのいずれでもよろしいですが、下部は図A Bのいずれかとしてください。
2	91	<p>・Kと検線の書き方はどのような書き方が正しいですか。</p> 	・文字と線が交差していなければ、全国大会実施基準の例や図A Bのいずれの書き方もかまいません。
2	92	・2次作業の終了の合図は、どのようにすればよろしいですか。	・巻尺を巻き、ポール、ピンポールを持って出発地点のサークル内に集まり、挙手と声で終了の合図を審査員にしてください。
2,3	93	<p>・「測量年月日」の区切りの記入の仕方は、どちらが正しいですか。 A 24. 10. 24 B 24、10、24</p>	・Aが正しいです。
3	94	・3次作業で図面を仕上げる際に、測量針を使用してもよろしいですか。	・使用することはできません。

作業	No.	質 問	回 答
2	3	95 ・求積区を示す記号「あ・い・う・え」の指定はされますか。また、2次作業と3次作業では同じ区分にしなければなりませんか。	・求積区「あ・い・う・え」の場所は指定しませんが、チーム内で統一させてください。
	3	96 ・図郭線やタイトルブックは、指定の大きさがありますか。	・特にありません。図面のバランスを考えて描いてください。
	3	97 ・3次作業において、図面を平板からはずして作業してもよろしいですか。また、はずす時間は、作業時間外に確保されていますか。	・よいです。図面をはずす場合は、準備時間中に行うことができます。準備ができたなら図面を裏返してください。
	3	98 ・三斜法において、選手の移動は可能ですか。	・対面している状態から始めますが、作業中は移動してもかまいません。ただし、他の選手の邪魔にならないようにしてください。
1	3	99 ・閉合誤差が10cm未満の場合は、終点と始点を結線してもよろしいですか。	・1次作業終了時に結線させた場合は減点の対象になります。3次作業においては、必要により図解法を用いるか、終点と始点をそのまま結線して作業してもよいです。ただし、数値では示しませんが、程度によって減点になる場合があります。
	3	100 ・閉合誤差の補正を図解法で行った場合、補正前の線は消すのですか。	・消してください。
	3	101 ・3次作業でスケールアップを行うとき、10cm単位ではなく、5cm単位や1cm単位まで目測により読んでよろしいですか。	・よいです。
	3	102 ・三斜法の場合、境界線を底辺として面積計算してもよろしいですか。	・よいです。
	3	103 ・面積計算簿において、千の位にカンマ「 , 」を入れなければなりませんか。	・必ず入れてください。「、」や「.」ではいけません。
	3	104 ・三斜法で、高さを記入するスペースがほとんどない場合、どのように書けばよろしいですか。 	・図Bのようにしてください。
	3	105 ・図面仕上げにおいて、数値の書き方はどちらが正しいですか。 	・図Aが正しいです。数字は上向きに、線の上を書くことを原則とします。
	3	106 ・図面仕上げにおいて、三角形の底辺または高さが垂直になった場合の数字の書き方を教えてください。	・線が垂直な場合、数字は図面右からみて上向きに、線の上を書くのを原則とします。
	3	107 ・完成図面の図形が極端に端の方にあり、図郭線の余白が他の箇所比べて狭くなる場合は減点対象になりますか。	・図面の配置を考えて、描くのが望ましいです。減点対象にはなりません。最優秀候補になった場合は考慮されます。
	3	108 ・面積計算において計算ミスをして、その後の計算へ影響した場合、どのように採点されますか。	・計算ミスの箇所についてのみ減点とします。減点後の関連した計算は減点しません。ただし、さらに計算違いをした場合は減点します。
	3	109 ・連続計算をした場合、減点対象になりますか。	・計算簿に示されている、小数点以下第2位に四捨五入された数値を使って審査を行います。影響していた場合は減点します。
	3	110 ・面積較差が選手の計算ミスにより制限を超えたが、審査員が正しく計算し直した値は制限内であったとき、どちらの値により審査が行われますか。	・計算ミス等で制限を超えた場合は、選手の計算した値（面積計算簿に記載されている値）で審査を行います。計算ミスをして制限内に入った場合は、審査員が正しく計算し直した値で審査が行われます。計算ミスの箇所は減点の対象になります。
	3	111 ・図面を平板からはずして作図した場合、作図終了後に再び平板に貼る必要がありますか。	・再び平板に貼る必要はありません。
	3	112 ・3次作業の終了の合図は、どのようにすればよろしいですか。	・筆記用具を置いて面積計算簿及び図面を裏返し、無言の挙手で行ってください。その際、しっかりと手を挙げて合図をしてください。なお、この動作を行うまでを競技時間とします。
1		113 ・雨天時の1次作業において、直角座標値はどのように提示されますか。また、どのような様式で記載されているのですか。	・測点ナンバーとXY座標値を表形式で示したものを各チームに配布します。
1		114 ・雨天時における1次作業で、境界線・対角線及び検線等の距離は、座標計算をしてもよろしいですか。	・してはいけません。
1	2	115 ・雨天時の競技で、測量針を使用することは可能ですか。	・全国大会実施基準のとおり、使用することはできません。

作業	No.	質問	回答
1 2 3	116	・実着の色が違っていても良いですか（合同チーム等の場合）。	・よいです。
1	117	・1次作業中に測量針を持ち運ぶためと紛失防止のため、図のように測量針を消しゴムに刺していてもよろしいか。また、それができない場合は、測量針を入れる小さなケースを平板上において作業をしても減点にはなりません。その場合、器具点検でその小さなケースの点検を受ける必要がありますか。 	・測量針の紛失防止ということで使用を認めます。ただし、道具類（消しゴム）を目的以外のことに使用することは避けてください。減点の対象とはしません。なお、競技場を持って入る器具類等は、全て器具点検を受けてください。
1	118	・平板に「測量針立て」を取り付けたり、求心器の先に下げ振りが外れないよう加工してもよろしいですか。	・測量器具の加工は測量針以外は認めていません。減点の対象とします。
1	119	・1次作業時の移動において、下げ振りを首から掛けて移動しても良いですか。	・減点の対象とはしませんが、ポケット等にしまって移動してください。
1	120	・1次作業において、求心器に下げ振りをつるしたまま、手に持って移動しても良いですか。	・減点の対象とはしませんが、ポケット等にしまって移動してください。
1	121	・平板の据え付けにおいて、三脚の踏み込みがついていない三脚は踏み込みができないので、手で三脚を押して固定したのでよろしいでしょうか。また、三脚の3本とも固定しないと減点されますか。	・手で三脚を押して固定してよいです。観測中、三脚が動かないよう固定しない場合は、減点対象とします。三脚は3本とも固定してください。
1	122	・1次作業において距離を計る際、平板(三脚)を1~2m移動しても(三脚は閉じずに物は載っている状態で)良いですか。減点の対象になりますか。	・よいです。減点対象とはしません。
1	123	・1次作業において、測点に○印をつけてもいいですか。	・1次作業終了時に、記入事項以外の項目が記載されていれば減点対象とします。
1	124	・1次作業終了(点検)時に測点上に針は立てたままでよいか。立てておく場合、No.6とNo.1'の2本なのか、それとも他の点にも立てておいてよいか。	・測量針をどこに立てていてもかまいません。また、何本でもかまいません。
1 2	125	・巻き尺をまたぐと減点になりますか。	・またいだかどうかの判断は難しいので審査対象とはしませんが、観測中に巻尺を踏んだり蹴ったりした場合は減点の対象とします。
1 2	126	・巻尺が30mと少し計測が可能であるが、30mを超えたら、必ず1測長以上と考えて、測量ピン等を使用して計測しないといけないのでしょうか。	・必ず1測長以上と考えて測量ピン等を使用して観測を行ってください。
1 2	127	・杭の中心どうしを結んで巻尺で測定する時に、杭の高さが約9cmなので、1度でも地面にふれたら減点対象となりますか。	・地面に触れた場合でも引きずりがなければ減点対象としません。引きずりについては、程度によって減点対象となる場合があります。
1 2	128	・2.5m以上(30m未満)の距離測定では、巻尺がどうしてもしっかりと張れず少したわみます。減点の対象になるのでしょうか。	・たわみは、減点対象としません。
2	129	・2次作業時の図面でフリーハンドで書いた時に境界線と対角線等が交わっていないと減点になりますか。	・フリーハンドでかまいませんが、実施基準通りに仕上げてください。
2	130	・オフセット野帳の「縦の線」の長さは、大会前に教えていただけるのでしょうか。	・大会前には示しませんが、大会当日、使用する測点、オフセット野帳、面積計算簿を展示します。
3	131	・3次作業開始時に図面を貼っている平板やオフセット野帳・計算簿などは裏返した状態で3次作業を開始するのですか。	・全て裏返した状態で開始します。また、終了合図は、全て裏返した状態で合図をしてください。
1	132	・雨天時の1次作業では、メモ用紙は配られますか。配られた場合にはそのメモ用紙を提出するのですか。	・メモ用紙は配布しません。なお、図紙、オフセット野帳など、配布した物は全て提出してください。
1	133	・雨天時の1次作業では、下図のように3人が机に横並びに座って1次作業を開始するのですか。それとも、例えば2人と1人が向き合った状態で1次作業を開始するのですか。また、作業開始後はお互いに移動して作業してよろしいか。 	・図Aの状態で行って1次作業を開始します。作業途中は、お互いに移動して作業してもかまいませんが、終了の合図は元の位置に戻ってしてください。
1	134	・1次作業の際、前視・後視以外の点を確認のため視準することは可能ですか。	・前視・後視以外の点の視準はできません。また、前視・後視であっても、アリダードを使って視準をやり直すときなどは、必ずポールを立ててから視準を行ってください。ポールを立てることなしにアリダードを使っている視準は減点対象です。
1 2	135	・1次、2次作業において(道具袋に準じて)カラビナを使用しても良いのでしょうか。	・カラビナを使用しないで作業をしてください。
3	136	・3次作業において、オフセット野帳を見ながら面積計算をする際に、オフセット野帳に転記しやすいように(a, b, c)を各辺に書いてもよろしいですか。 	・3次作業の時に、オフセット野帳の書き換え、書き足しは減点になります。
2 3	137	・測量年月日の年は、平成または西暦のどちらを記入すべきですか。	・25. 10. 23と記入してください。
1 2	138	・中間点を設ける場合、測距ピンを寝かせておいても減点にはなりませんか。	・減点にはなりません。ただし測距の際は、必ずピンを立てて測定してください。

作業	No.	質 問	回 答
1:2:	139	・30m以上の測定をする場合、中間点にいる者が、ピンポール1本で方向を定め、巻尺を合わせたあと、きりの良い所にピンポールを移動しても良いですか。	・一度設置した測距用ピンをただ単に抜いて、きりの良い目盛へ移動しないでください。
1:2:3	140	・市販されている方眼目盛入りの定規類を使用してもよいですか。	・よいです。
2:	141	・見取図板（野帳用下敷）を首から下げて吊るせるように、紐を付ける加工はしてもよいですか。	・よいです。